

参考資料

資料 1 : メッセージリーフレット	42
資料 2 : 災害図上訓練・まちあるきの手法	44
資料 3 : ワークショップの手法	48
資料 4 : 各市町連絡先一覧	50
資料 5 : 葵団地防災カード	51
資料 6 : 上根・向山地域振興会名簿	52
資料 7 : 忠海東町第 1 自治会～第 7 自治会避難訓練チラシ	53
様式 1 : 組織図と連絡網	54
様式 2 : 呼びかけ体制づくり検討シート	56



資料 1 メッセージリーフレット（災害時の避難行動を促進するメッセージ事例）

このメッセージ事例は、平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえて行った県民の避難行動等の調査において、「他者(家族や近隣の人、自主防災組織など)からの避難の呼びかけ」が避難行動を促進することが分かったことから、自主防災組織の方が風水害・土砂災害から住民の方に避難を呼びかける際の参考としていただくため、広島県が作成したものです。つきましては、避難を呼びかける際にご活用ください。

令和 2 年 2 月 広島県危機管理監減災対策推進担当

●災害時の避難行動を促進するメッセージ事例

①他者からの、状況(周りの方が避難しているなど)に影響されて避難を促進

「近所の方も避難している(避難するそうなので)ので避難しましょう。」

「〇〇さん、〇〇さんも避難している(避難するそうなので)ので避難しましょう。」

「私も避難するので避難しましょう。」

「あなたが避難することで、近隣の方も避難すると思うので、避難しましょう。」

「あなたが避難しなければ、近所の方はそれを見て、避難しなくていい状況だと思い込んでしまうかもしれないので、避難しましょう。」

②他者と、避難の手段(車など)を話し合うことで避難のイメージを思い浮かべて避難を促進

「一緒に車で避難しましょう。」

「一緒に水・食料を持って避難しましょう。」

「水・食料は、市町が準備してくれるはずなので、まず、避難しましょう。」

「わたしの家に避難しましょう。」

「今後、雨が降り続くと避難場所までの道路が冠水する可能性があるので避難しましょう。」

「今なら道路は大丈夫なので、一緒に避難しましょう。」

「これ以上遅くなると暗い中を避難することになりますので、明るいうちに避難場所へ避難しましょう。」

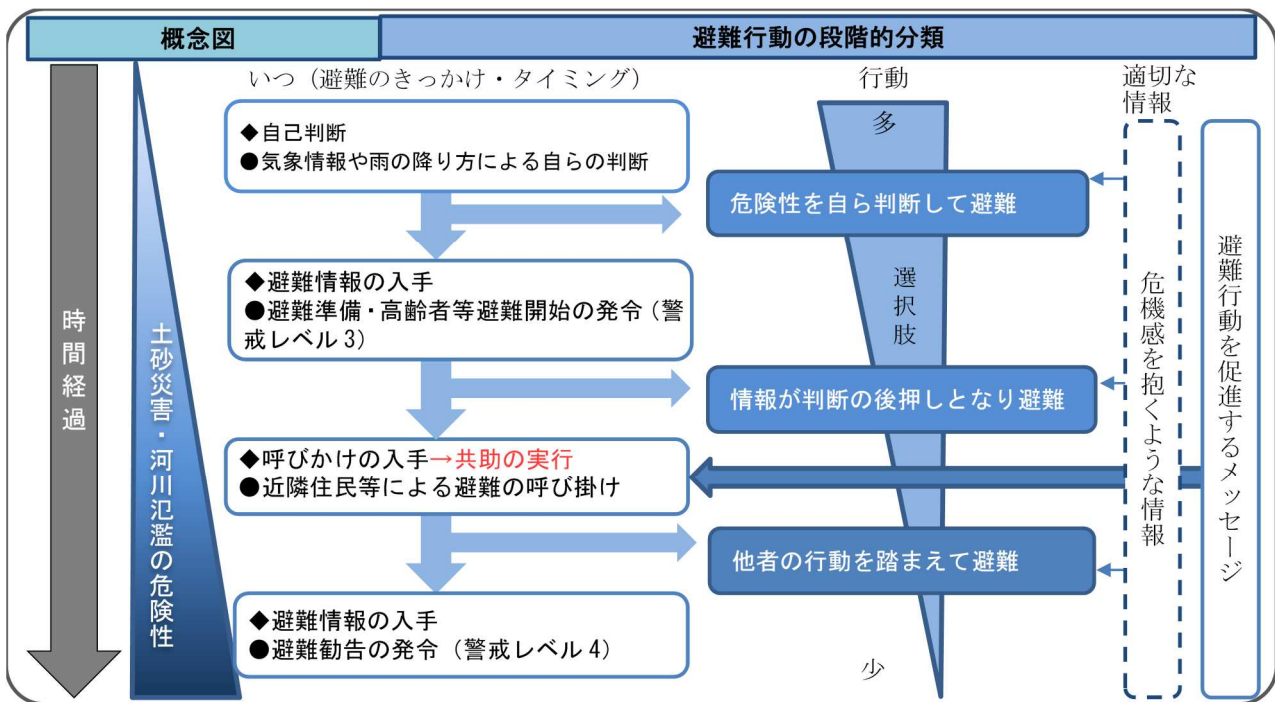
③他者からの、呼びかけから、心情的な作用が働いて避難を促進

「あなたが避難することはみんなの命を救うことになるので避難場所へ避難しましょう。」

「あなたが避難しないと人の命を危険にさらすことになるので避難場所へ避難しましょう。」

「あなたが避難しないと人に迷惑をかけることになるかもしれないので避難しましょう。」

●土砂災害・風水害の避難行動の段階的 분류(メッセージのタイミング)



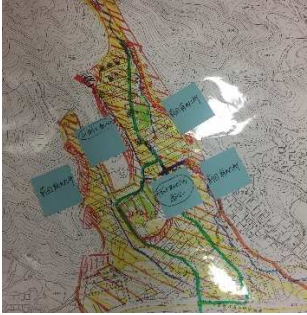



資料2 災害図上訓練・まちあるきの手法

●災害図上訓練の準備品

No	準備品	必要数	使用目的
1	地域の地図	各グループに1枚	<ul style="list-style-type: none"> 地域の状況や地形などが分かる大きい地図を準備してください。【地図のサイズの目安：A0 または A1 サイズ、地図の縮尺の目安：1/1500～1/5000】 地図の用意はお住いの市町に問い合わせてください。
2	ハザードマップ	各グループに複数枚	<ul style="list-style-type: none"> 災害が起こり得る区域を確認します。土砂災害、洪水など災害種別によってハザードマップが異なる場合があります。 ハザードマップの用意はお住いの市町に問い合わせてください。 また、広島県のホームページから印刷することもできます。 <ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害ポータルひろしま【土砂災害警戒区域を掲載】 https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/Top.aspx ●洪水ポータルひろしま【河川の浸水想定区域を掲載】 http://www.kouzui.pref.hiroshima.lg.jp/portal/ ●高潮・津波災害ポータルひろしま【高潮や津波の浸水想定区域などを掲載】 http://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx ●広島県ため池マップ【ため池の浸水想定区域を掲載】 https://www2.wagmap.jp/pref-hiroshima/Portal
3	透明シート	各グループに1枚	<ul style="list-style-type: none"> 地図の上に重ね、災害が起こり得る区域などを書き込むために使用します。【地図に直接書き込む場合は不要】
4	はさみ	1個	<ul style="list-style-type: none"> 透明シートを裁断するために使用します。【透明シートを使用しない場合は不要】
5	テープ	1個	<ul style="list-style-type: none"> 地図や透明シートを固定するために使用します。
6	油性ペン	各グループに1セット	<ul style="list-style-type: none"> 地図の上に敷いた透明シートに書き込みをするために使用します。書き込む内容によって色を使い分けられるよう、8～12色のセットが便利です。
7	色丸シール	各グループに1セット	<ul style="list-style-type: none"> 危険な箇所や災害時に役に立つ施設など、地図に様々情報を表示するために使用します。色丸シールは5色準備しておくとう便利です。
8	付箋	各グループに複数個	<ul style="list-style-type: none"> 気が付いたことを書き出したり、地図上に表示する時などに使用します。正方形の大きいサイズを準備しておくとう便利です。
9	外用消炎鎮痛剤	1～2個	<ul style="list-style-type: none"> 油性ペンの書き込みを消すのに使用します。【地図に直接書き込む場合は不要】
10	ポケットティッシュ	3～5個	<ul style="list-style-type: none"> 外用消炎鎮痛剤で湿らして地図を拭くと、油性ペンの書き込みが消えます。【地図に直接書き込む場合は不要】
11	模造紙	各グループに1枚	<ul style="list-style-type: none"> 付箋に書いた意見を整理したり、意見を書き出したりするのに使用します。
12	ボールペン	参加者数分	<ul style="list-style-type: none"> 付箋に意見を書くのに使用します。

●災害図上訓練の進め方(詳細)

時間 (目安)	項目	実施内容	状況写真								
10分	準備	① 参加者を5～6名程度のグループに分けそれぞれリーダーを決めます。 ② 地図を机に広げテープで固定します。透明シートを地図の上に重ねテープで固定します。									
15分	地形や建造物の書き込み	地形や建物の状況を、油性ペンで地図に書き込みます。 <table border="1" data-bbox="371 607 906 775"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川や水路</td> <td>水</td> </tr> <tr> <td>主要道路(国道や県道など)</td> <td>茶</td> </tr> <tr> <td>避難所や避難場所</td> <td>緑</td> </tr> </tbody> </table>	項目	色	川や水路	水	主要道路(国道や県道など)	茶	避難所や避難場所	緑	
項目	色										
川や水路	水										
主要道路(国道や県道など)	茶										
避難所や避難場所	緑										
20分	危険な場所等の書き込み	参加者で話し合い危険だと思う場所などに色丸シールを貼ります。 <table border="1" data-bbox="371 891 906 1160"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険な場所※</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>安全な場所(広場・公園・オープンスペースなど)</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>災害時に役立つ場所(公的機関・食品店・防災倉庫等)</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table> ※危険な理由を付箋に書いて地図に貼りましょう。	項目	色	危険な場所※	赤	安全な場所(広場・公園・オープンスペースなど)	緑	災害時に役立つ場所(公的機関・食品店・防災倉庫等)	青	
項目	色										
危険な場所※	赤										
安全な場所(広場・公園・オープンスペースなど)	緑										
災害時に役立つ場所(公的機関・食品店・防災倉庫等)	青										
20分	警戒区域等の書き込み	ハザードマップを参考に、次の範囲を油性ペンで書き込みます。 <table border="1" data-bbox="371 1350 906 1552"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土砂災害警戒区域・特別警戒区域 過去に土砂災害が発生した地域</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>洪水浸水想定区域 過去に浸水した場所</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table>	項目	色	土砂災害警戒区域・特別警戒区域 過去に土砂災害が発生した地域	赤	洪水浸水想定区域 過去に浸水した場所	青			
項目	色										
土砂災害警戒区域・特別警戒区域 過去に土砂災害が発生した地域	赤										
洪水浸水想定区域 過去に浸水した場所	青										
25分	意見交換	地図を見ながら、地域に災害が発生した場合を考え、話し合います。 【テーマ例】 ・ 必要な避難行動 ・ 安全な避難経路 ・ 災害への強みや弱み									
30分	検討	災害への備えについて、参加者で検討します。 【テーマ例】 ・ 避難の呼びかけ体制 ・ 個人としての備え ・ 自主防災組織としての備え									

※書き込む項目や色はあくまで目安です。適宜追加をしてください。

●まちあるきの進め方

【①スケジュール】

時間 (目安)	項目	実施内容								
10分	準備	実際にまちを歩く前に、次のことを決めましょう。 グループ：なるべく同じ地域に住んでいる人を、5～6名程度のグループに分けます。 役割分担：グループ内で、リーダー・写真撮影係・メモ係を決めます。 ルート：まちあるきで確認するルートを決めます。								
60分	まちあるき	次のページのチェックリストを参考に、気づいたことを地図にメモをしましょう。また、重要なポイントでは写真を撮るとともに、地図上に各色のシールを貼ることをお勧めします。 <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険だと思った場所</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>安全だと思った場所</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>役立つと思った場所</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table>	項目	色	危険だと思った場所	赤	安全だと思った場所	緑	役立つと思った場所	青
項目	色									
危険だと思った場所	赤									
安全だと思った場所	緑									
役立つと思った場所	青									
30分	意見交換	地域を歩いて気が付いたことをグループで話し合います。 また、必要に応じて、危険だと思った理由や、役に立つと考えたポイント等を書いた付箋や、撮影した写真を地図に貼ると、状況が分かりやすくなります。 ※取りまとめた結果を参考に、地域の安全な避難経路を話し合ってみましょう。								
20分	発表	グループで話し合った内容を発表し、参加者全員で共有しましょう。								

【②準備品】

地域を歩く際に必要なもの		とりまとめに必要なもの	
物品	必要数	物品	必要数
地域の地図(A3 または A4)	各グループ 2、3 枚	地域の地図 (A0 または A1)	各グループ 1 枚
カメラ	各グループ 1 台	油性ペン	各グループ 1 セット
画板	地図と同じ枚数	付箋	各グループ 1 冊
筆記用具	地図と同じ本数	丸シール	各グループ 1 セット

※この他、参加者は飲み物を持ってきましょう。

※体調が優れないときは、まちあるきを控えましょう。

【③実施のようす】



●まちあるきチェックリスト(抜粋)

まちあるきのチェックリストを下表のとおりまとめましたので、活用してください。

また、広島県が作成した「自主防災組織活性化マニュアル」には、より詳細なチェックリストを掲載していますので、参考にしてください。

【ダウンロードURL:<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/5/h27jisyumanu.html>】

No.	項目	✓	
1	河川護岸にひび割れ、欠損、剥離（はくり）などの損傷がある。		
2	河川氾濫	河川護岸が途切れた箇所があり、川の増水で越流する。	
3		橋脚の間隔が狭く流木などが引っかかりやすい橋がある。	
4		雨が降ると溢れやすい箇所がある。	
5		過去に氾濫した箇所がある。	
6		「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」に指定された箇所がある。	
7	土砂災害	雨が続くとがけから水が湧きだす。	
8		のり砕工・擁壁工などのがけ崩れ対策工にひび割れなどの損傷がある。	
9		谷の出口に土石や流木が引っかかりやすい橋梁などがある。	
10		過去に土石流が発生し未対策の箇所がある。	
11	浸水災害	ガードパイプなどの柵や欄のない水路や側溝がある。	
12		浸水時、道路との境界が分かりにくい水路や側溝がある。	
13		土地が低く浸水しやすい箇所がある。	
14		大雨で川のようになる傾斜路がある。	
15		過去に高潮や豪雨で浸水した箇所がある。	
16	地震	昭和 56 年以前に建築された（新耐震基準を満たさない）建物が多い。	
17		倒壊して道路を塞ぐ恐れのある建造物（道路閉塞建物）がある。	
18		ブロック塀にひび割れ、欠損、剥離（はくり）などの損傷がある。	
19	その他	公衆電話の位置を把握している。	
20		AEDの設置箇所を把握している。	
気付きメモ			

資料3 ワークショップの手法

●ワークショップとは

- 参加者が議論や意見交換などを通じて解決案などをまとめていく、参加者体験型の取組です。
- 避難の呼びかけ体制づくりでは、付箋や模造紙を用い、呼びかけ体制づくり検討シート（P56）の各項目について参加者が意見を提示し、まとめるために実施します。

【ワークショップの流れ】

Step①

- 参加者を5～6名程度のグループに分ける。
- 自己紹介を行い、リーダーを決める。

Step②

- 自身の意見を付箋に記入して模造紙に貼る。

Step③

- 同じ又は類似の意見の付箋は重ねて貼り、1つの意見として整理する。

Step④

- Step③で整理した意見について話し合い、グループの意見をまとめる。

Step⑤

- グループごとに各項目についての意見を発表する。

Step⑥

- 自主防災組織としての呼びかけ体制の方針をまとめていく。

●ワークショップの準備品

No	準備品	必要数	使用目的
1	付箋（正方形）	グループに1冊	意見を記入します。
2	筆記用具	参加者数分	付箋や模造紙に記入するために使用します。
3	模造紙	グループに1枚	付箋を貼り、意見をまとめるために使用します。
4	連絡網・組織図	適宜	現状の組織の体制を確認するために使用します。
5	呼びかけ体制づくり検討シート（P56）	適宜	検討項目の確認や、呼びかけ体制の記入に使用します。

付箋や模造紙を使うメリット

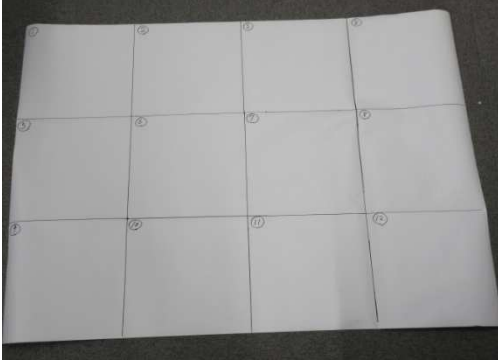




- 参加者が自身の意見を提示しやすい**
各自で意見を記入する時間を設けることで、他の参加者の意見から影響を受けずに、考えを整理できる。
意見を付箋で示すことにより、発言することが苦手な人も、自分の意見や考えを提示することができる。
- 意見をまとめやすい**
付箋に意見が書かれることで整理しやすくなり、意見をまとめやすい。
- 意見を確認しやすい**
付箋に意見が書かれているため、振り返りがしやすい。

実施の注意点

- 1枚の付箋には1つの意見を書くこと。
- 付箋に記入する際は、簡潔明瞭にすること。
- 1つの項目につき、1枚は意見を書くこと。
- 書く時間・話し合う時間でメリハリをつけること。
- 人の意見は最後まで聴くこと、また、人の意見を否定しないこと。
- 人の意見を認めたくうえで自分の意見を言うこと。



●ワークショップの進め方(詳細)

時間 (目安)	項目	実施内容	実施の様子
15分	Step① 【準備】	<ol style="list-style-type: none"> ①なるべく近くに住む人同士で、参加者を5～6名のグループに分けます。 ②グループ内で自己紹介をします。このとき、趣味や好きな食べ物などの話をすると場が温まり、話がしやすい環境になります。 ③グループでリーダーを決めます。リーダーは実施の注意点を参考に、各ステップを進行しましょう。 ④模造紙に項目数分の枠をつくります。 	
25分	Step② 【意見の提示】	<ol style="list-style-type: none"> ①項目ごとに自身の意見を付箋に記入します。 ②意見を書いた付箋を模造紙に貼ります。 	
10分	Step③ 【意見の整理】	<ol style="list-style-type: none"> ①模造紙に貼られた意見の中で同じ又は類似の付箋を重ねて貼り、1つの意見として整理します。 ②まとめている途中で新しい意見が出たら、適宜付箋に書いて追加していきましょう。 	
35分	Step④ 【意見の集約】	<ol style="list-style-type: none"> ①ステップ③で整理した意見について話し合い、グループの意見をまとめていきます。 	
15分	Step⑤ 【発表】	<ol style="list-style-type: none"> ①グループごとに、各項目についての意見を発表します。 	
20分	Step⑥ 【方針の決定】	<ol style="list-style-type: none"> ①各グループの意見を基に、組織の方針をまとめていきます。 	

- 全体の進行役がいると、ワークショップがスムーズに進みやすくなります。
- ワークショップで決まった方針を基に、役員会などで体制を決定しましょう。

資料4 各市町連絡先一覧

●各市町の自主防災組織担当課の連絡先

市町名	担当課名	電話番号	F A X 番号
広島市	災害予防課	082-504-2664	082-504-2802
	中区役所 地域起こし推進課	082-504-2820	082-541-3835
	東区役所 地域起こし推進課	082-568-7705	082-262-6986
	南区役所 地域起こし推進課	082-250-8935	082-252-7179
	西区役所 地域起こし推進課	082-532-1023	082-232-9783
	安佐南区役所 地域起こし推進課	082-831-4926	082-877-2299
	安佐北区役所 地域起こし推進課	082-819-3905	082-815-3906
	安芸区役所 地域起こし推進課	082-821-4905	082-822-8069
	佐伯区役所 地域起こし推進課	082-943-9704	082-943-9718
呉市	危機管理課	0823-25-3326	0823-25-0315
竹原市	危機管理課	0846-22-2283	0846-22-8579
三原市	危機管理課	0848-67-6066	0848-67-6164
尾道市	総務課	0848-38-9216	0848-37-2740
福山市	危機管理防災課	084-928-1228	084-926-0845
府中市	危機管理室	0847-43-7211	0847-46-3450
三次市	危機管理課	0824-62-6116	0824-62-2951
庄原市	危機管理課	0824-73-1206	0824-73-1515
大竹市	危機管理課	0827-59-2119	0827-57-7130
東広島市	危機管理課	082-420-0400	082-422-4021
廿日市市	危機管理課	0829-30-9139	0829-32-5163
安芸高田市	危機管理課	0826-42-5625	0826-42-4376
江田島市	危機管理課	0823-43-1633	0823-57-4435
府中町	危機管理課	082-286-3243	082-286-3126
海田町	防災課	082-823-9208	082-823-7927
熊野町	防災安全課	082-820-5631	082-854-8009
坂町	環境防災課	082-820-1540	082-820-1522
安芸太田町	総務課	0826-28-2111	0826-28-1622
北広島町	危機管理課	050-5812-1819	0826-72-5242
大崎上島町	総務企画課	0846-65-3111	0846-65-3198
世羅町	総務課	0847-22-1111	0847-22-2768
神石高原町	総務課	0847-89-3330	0847-85-3394

●広島県自主防災アドバイザーの紹介先

広島県	消防保安課	082-513-2790	082-227-2122
-----	-------	--------------	--------------

資料5 薬団地防災カード

<p>表面</p> <p style="text-align: center;"> 日 月 年 日 確認年月日 日 月 年 日 記入年月日 薬団地防災カード あなたの避難がみんなの命を救う！ </p> <hr/> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>このカードの中に お願いしたいことが書いてあります。</p> </div>	<p>裏面</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">(ふりがな)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">氏 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">住 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>年 月 日</td> <td>血液型(型)</td> </tr> <tr> <td>連絡先(自宅)</td> <td></td> <td>RH + -</td> </tr> <tr> <td colspan="3">緊急連絡先(続柄):</td> </tr> <tr> <td colspan="3">病名・障害名等:</td> </tr> <tr> <td colspan="2">かかりつけ医療機関:</td> <td>(主治医:)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">TEL:</td> </tr> <tr> <td colspan="3">理解・援助・配慮等をお願いしたいこと (その他の連絡先)</td> </tr> </table>	(ふりがな)			氏 名			住 所			生年月日	年 月 日	血液型(型)	連絡先(自宅)		RH + -	緊急連絡先(続柄):			病名・障害名等:			かかりつけ医療機関:		(主治医:)	TEL:			理解・援助・配慮等をお願いしたいこと (その他の連絡先)		
(ふりがな)																															
氏 名																															
住 所																															
生年月日	年 月 日	血液型(型)																													
連絡先(自宅)		RH + -																													
緊急連絡先(続柄):																															
病名・障害名等:																															
かかりつけ医療機関:		(主治医:)																													
TEL:																															
理解・援助・配慮等をお願いしたいこと (その他の連絡先)																															

※表面の点線を山折りにして使用します。

※記載事項については、適宜追記・修正をしてください。



班 No.	世帯主名	年齢	お大助アオン 又は 電話番号	緊急連絡先 携帯電話番号等	家族名		家族名		家族名		年齢	家族名	年齢	家族名	年齢	避難方法	要保護 有・無	緊急連絡先			
					家族名	年齢	家族名	年齢	家族名	年齢								氏名	電話番号		
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					

避難方法：自・要 自＝自主避難できる。 要＝保護が必要 要保護：有・無 有＝避難の際、保護が必要なし 無＝保護が必要でない人

避難訓練実施のお知らせ

(忠海第1～第7自治会一斉)

日時： 10月27日(日)9:00～11:20

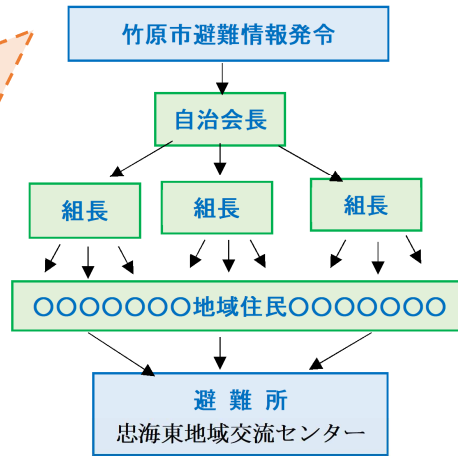
内容： 避難情報伝達訓練・広島県防災アドバイザー講演 他

【訓練想定】

台風の接近に伴い、雨がさらに激しく降ることが予想され、また、沿岸部では満潮と重なって高潮の危険性も高まっているため、竹原市では10月27日9時00分に警戒レベル3(避難準備・高齢者等避難開始)を発令、忠海東地域交流センターに避難所を開設した。(10月27日の満潮時刻9時30分)

【伝達訓練のポイント】

- ・呼びかけのタイミング
- ・呼びかけの方法、範囲
- ・呼びかけの内容
- ・避難者の確認方法



【タイムスケジュール】

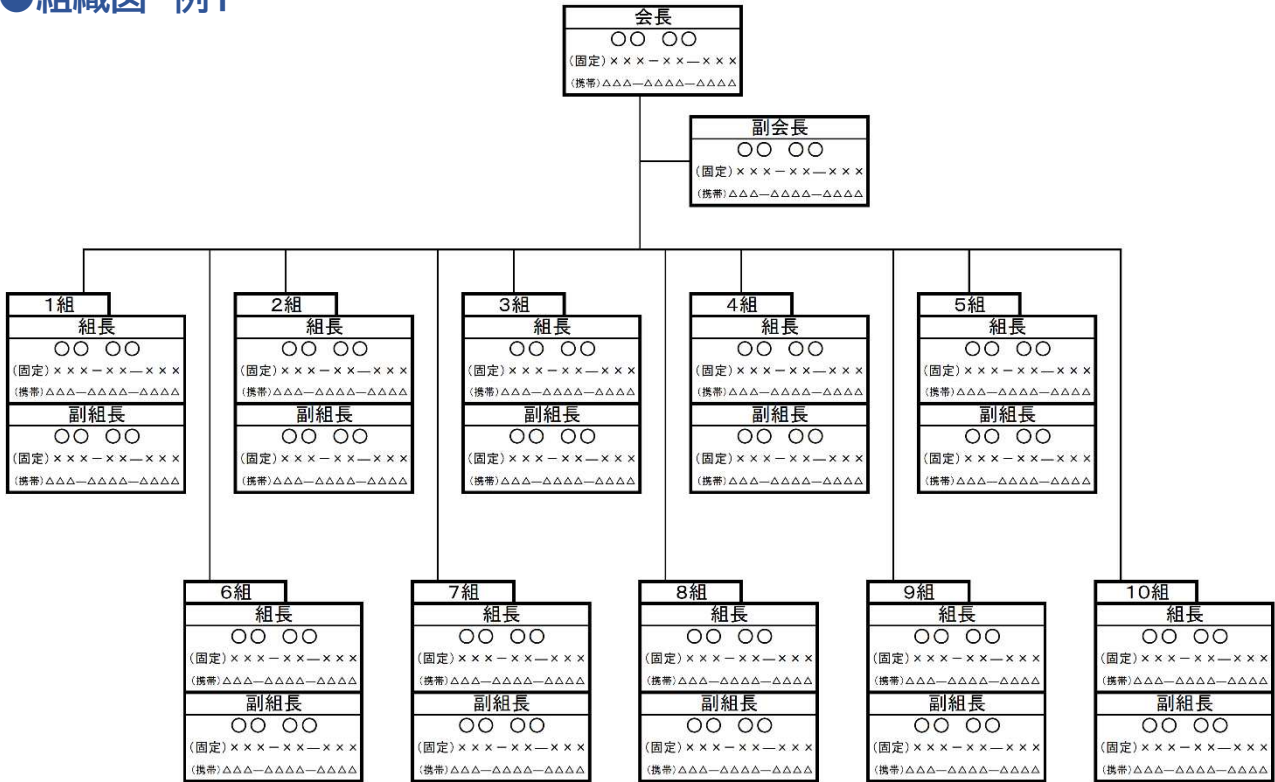
時間	竹原市	忠海第1～第7自治会	備考
9:00	・警戒レベル3発令		
9:02頃	・避難所(忠海東地域交流センター)開設	・避難情報を受けて、各自治会は各々の体制に応じて、避難の呼びかけと避難を開始する	・市から自治会長に避難情報の電話連絡有り
9:50	・避難訓練終了		
10:00	・講演会開始	・竹原茂氏(自主防災アドバイザー)による防災講演会	
10:40		・広島県から土砂災害警戒区域等の設定に関する説明	
		・アルファ化米試食	
11:20	・終了	・解散	

今年の夏も大雨、台風と何度も避難情報が発令されました。今回実施する訓練は避難情報が地域の皆さんにきちんと伝達され、危険を感じたときいかに早く避難できるかの訓練になります。当日は自治会長を通じて避難情報の連絡がありますが、町内の皆さんに伝達が行き渡るよう宜しくお願いします。逃げ遅れる人がでない地域になれるよう取り組んでいきましょう。地域の皆さんのご理解と、ご協力を宜しくお願い致します。

主 催 竹原市忠海東地区(忠海第1～第7自治会)避難訓練実行委員会
 共 催 忠海東地域交流センター
 協力機関 広島県 ・ 竹原市

様式1 組織図と連絡網

●組織図 例1



●組織図 例2



●連絡網 例1

〇〇自主防災会 連絡網

地区(班)名: _____ 1班

番号	世帯主名	人数 (世帯主 含む)	連絡先 上段: 自宅電話 下段: 携帯電話	組織 での 役職	土砂災害警戒区 域等の範囲内の 有無	避難 支援 の要否	避難支援者名	備考欄 (必要な支援等を記入)	その他の 連絡先
1	広島 一郎	4	XXX-XXXX-XXXX △△△-△△△△-△△△△	班長	有	×			(妻携帯) ▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲
2	安芸 次郎	2	XXX-XXXX-XXXX		有	○	広島 一郎	携帯無し。 広島 一郎家と一緒に避難	
3	防災 三郎	3	XXX-XXXX-XXXX △△△-△△△△-△△△△	自主防 副会長	有	×			(息子携帯) ▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲
4	減災 花子	1	XXX-XXXX-XXXX		有	○	自助 四郎	歩行時、杖又は押し車が必要 呼びかけ必要。自助四郎氏にも要連絡	(自助 四郎携帯) ▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲
5	消防 五郎	1	XXX-XXXX-XXXX		有	○	共助 六郎 公助 七郎	歩行困難なため車いす使用。 避難所までは車で移動する必要有り	(共助 六郎携帯) ▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲ (公助 七郎携帯) ▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									

○/○ページ

●連絡網 例2

世帯主	ふりがな				電話番号	緊急避難時の要支援者状況について
	氏名				携帯番号	
	住所				世帯主も入れた世帯人数	
	ふりがな				電話番号	
家族状況	勤務先					(具体的にどう支援が必要なのか?)
	ふりがな	世帯主との関係	電話番号			
	氏名		携帯番号			
	ふりがな	世帯主との関係	ふりがな	世帯主との関係		
緊急連絡先	氏名					(具体的にどう支援が必要なのか?)
	ふりがな	世帯主との関係	ふりがな	世帯主との関係		
	氏名		氏名			
	ふりがな	世帯主との関係	ふりがな	世帯主との関係		
緊急連絡先	①	ふりがな			電話番号①	(具体的にどう支援が必要なのか?)
	氏名					
	ふりがな				電話番号②	
	氏名					

緊急避難時に備えて予め申告してください。下記の空欄場所に○をお願いいたします。
*その他に関しては緊急連絡が取れるようにしてください。可能であれば連絡先も記載をお願いいたします。

避難勧告時の 避難場所	避難所に 避難する		緊急連絡 先へ避難 する		その他	
----------------	--------------	--	--------------------	--	-----	--

様式2 呼びかけ体制づくり検討シート

自主防災組織名		
No.	項目	内容
1	世帯数・人口	
2	避難先	
3	災害想定区域	
4	避難情報の入手方法	
5	呼びかけの順番（連絡体制）	
6	呼びかけ担当者不在時の対応	
7	呼びかけのタイミング	
8	呼びかけの範囲・優先度	
9	呼びかけ方法	
10	呼びかけ内容（メッセージ）	
11	呼びかけ・避難の確認方法	
12	避難経路	
13	避難所の開設	
14	他団体との連携	
15	その他	

呼びかけ体制づくり検討シート(検討例)

自主防災組織名		◇◇町自主防災組織
No.	項目	内容
1	世帯数・人口	約 100 世帯 / 約 250 人 (令和 2 年 1 月時点)
2	避難先	◇◇町公民館
3	災害想定区域	土砂災害警戒区域・特別警戒区域
4	避難情報の入手方法	テレビや県の防災メール、防災行政無線の戸別受信機等により情報を入手する。
5	呼びかけの順番(連絡体制)	会長(副会長)→副会長※→組長(10人)→住民 ※会長・副会長は分担して組長に連絡する。
6	呼びかけ担当者不在時の対応	会長が不在の時:副会長が全組長に連絡する。 組長が不在の時:会長・副会長が直接、全住民に連絡する。
7	呼びかけのタイミング	警戒レベル3が発令されたとき。 ※警戒レベル4以降に戸別訪問で呼びかけを行うと、呼びかける側にも危険が及ぶ可能性があるため、呼びかけは警戒レベル3のみとする。
8	呼びかけの範囲・優先度	全住民に避難を呼びかける。 ただし、要配慮者や土砂災害警戒区域に居住する住民から先に呼びかけていく。
9	呼びかけ方法	固定電話と戸別訪問を主とする。 今後は携帯電話でも連絡ができるよう、住民に携帯電話の番号を聞き取る予定である。
10	呼びかけ内容(メッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> 私は◇◇町公民館に避難するので、一緒に避難しましょう! 自分の命を守るのは自分です!急いで一緒に逃げましょう! 残った人を悲しませるのはやめましょう!
11	呼びかけ・避難の確認方法	<ol style="list-style-type: none"> 住民に避難の呼びかけをしたら、組長は会長・副会長のいずれかに呼びかけた人と呼びかけた人の避難先を報告する。 会長・副会長は、組長からの報告を情報共有する。
12	避難経路	災害図上訓練やまちあるきを行い、過去に被災した箇所や危険な箇所を把握しており、安全に避難できる経路を設定している。
13	避難所の開設	◇◇町公民館(レベル3発令時に市が開設する。)
14	他団体との連携	現在、連携している団体はないが、今後、消防団や民生委員、子ども会などと話し合い、災害時における情報共有や、要配慮者の支援、平時の防災活動などについて、連携していく予定である。
15	その他	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップの作成について 今後、土砂災害警戒区域等の災害想定区域や、過去の被災箇所、避難所、避難ルートなどを示した防災マップを作成し、地区の状況を把握する予定である。

※16 ページに掲載している検討例も参考にしてください。



広島県 危機管理監 消防保安課

〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52